

NEWV4.2

一部の機能が強化されました！

ConMas Manager 自動出力ファイル設定 操作説明書

Rev.1.0.0

2012.10.31

Rev.2.0.0

2013.03.21

Rev.3.0.0

2013.04.23

Rev3.1.0機能強化版


2013.11.15

Rev4.2.0

2014.06.30

V4.2追加の新機能

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2012-10-31	V2.1	—	初版を発行しました。
2013-04-23	V3.0	P17～18	帳票定義毎のファイル出力可否設定とは
		P19	帳票定義毎のファイル出力可否の確認
		P20	帳票定義毎のファイル出力可否設定
		P21～P22	新規CSVレイアウト
		P23～P24	出力ファイルの種類別出力可否
		P25～P26	レイヤー込みPDFの出力有無
		P27～P29	手動出力ファイルの種類別出力可否
2013-11-15	V3.1	P9	出力フォルダ・ファイル設定で利用できる置換文字列を追加しました。
2013-11-26	V3.1	P5,P23,P24	自動出力ファイルとして、CSVの横形式を追加しました。
2013-11-26	V3.1	P30	Excel出力時に、定義Excelのセル書式をそのまま使用して出力するモードを追加しました。
2014-06-30	V4.2 	P32～P33	CSV出力時に画像ファイルを出力しない設定を追加しました。

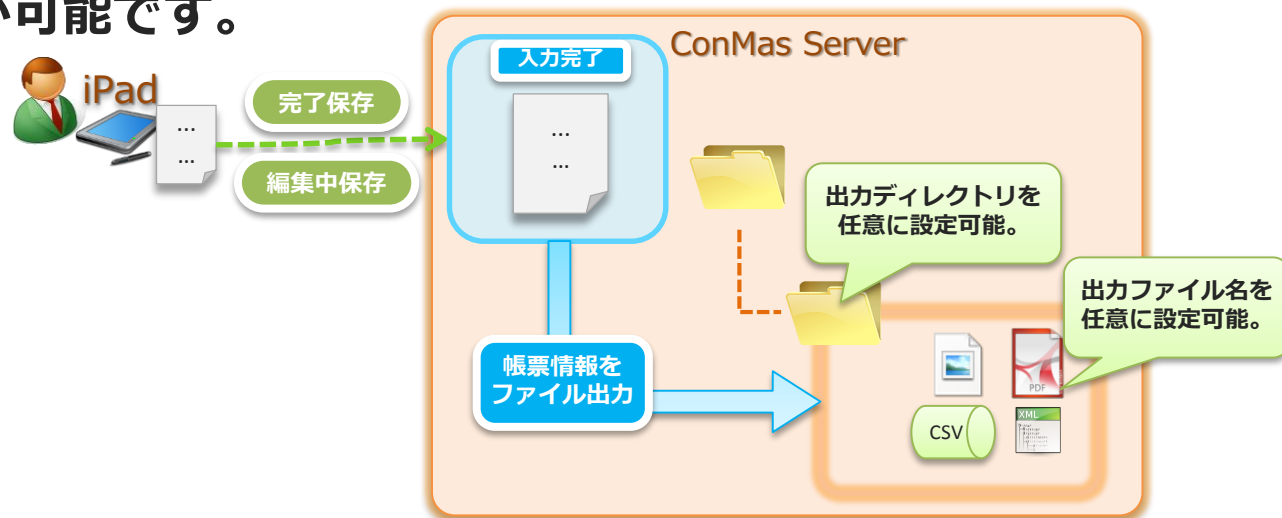
目次

- ・自動ファイル出力とは？
- ・自動出力するファイル一覧
 1. 出力ディレクトリーを確認する
 2. 出力ディレクトリーを変更する
 3. 置換文字列について
 4. 出力ファイル名を確認する
 5. 出力ファイル名を変更する
 6. 入力完了ファイル出力可否の設定
 7. 編集保存ファイル出力可否の設定
 8. 帳票定義毎のファイル出力可否設定とは
 9. 帳票定義毎のファイル出力可否の確認
 10. 帳票定義毎のファイル出力可否設定
 11. CSVレイアウト
 12. 出力ファイルの種類別出力可否
 13. 自動出力PDFのレイヤー有無設定
 14. 手動出力ファイルの種類別出力可否
 15. Excel出力時の書式設定
 - 16. CSV出力時の画像ファイル出力可否**

V4.2追加の新機能

自動ファイル出力設定とは？

- iPad編集中保存、完了保存時の指定ディレクトリへの帳票データの自動出力
 - 帳票が完了処理されると指定ディレクトリへ、ひとつの帳票に対して以下のセットを自動出力します。
 - どのファイルを出力するかは、**帳票定義単位**に指定可能です。
 - 帳票に入力されたCSVデータ
 - 帳票に入力されたXMLデータ
 - 帳票のPDF
 - 帳票のExcel（Excelファイルから帳票定義を作成したもののみ）
 - サーバーの指定ディレクトリの監視型プログラムを開発することにより帳票データを自動に取得し外部システムへ連携することができます。
- ファイルの出力ディレクトリ、出力ファイル名称は任意に設定することが可能です。



自動出力するファイル一覧

以下が入力完了時に出力されるファイルです。

- CSVファイル (縦形式)



※P21,22 レイアウトが2種類あります。

クラスター入力値情報等を縦でCSV出力

- CSVファイル (横形式)



※P23 Managerデータ出力で出力されるCSVと同様の形式

クラスター入力値情報等を横でCSV出力

- クラスター画像



クラスター画像 ※png形式 ※クラスター入力値が画像データの場合のみ

- PDFファイル



入力帳票のPDF

- XMLファイル



入力帳票の全情報をXML化したファイル

1. 出力ディレクトリーを確認する

ConMasManagerでファイルの出力ディレクトリーを確認します。

- メニュー「システム管理」をクリックし、システム管理メニューより「共通マスタ管理」をクリックして共通マスター一覧を表示します。
- 画面右上の「共通キー」コンボボックスに“OUTPUT_SETTING”と入力します。
- 一覧 共通項目名称列が“BASE_FOLDER”である行の共通項目値がファイル出力ディレクトリーになります。

①メニュー「システム管理」をクリック

②システム管理メニュー「共通マスタ管理」をクリック

③“OUTPUT_SETTING”を選択

④共通項目名称列が“BASE_FOLDER”の行

⑤ファイル出力ディレクトリー

No.	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値
0	OUTPUT_SETTING	0	BASE_FOLDER	C:%ConMas%endInput%output%{defTopName}%
1	OUTPUT_SETTING	1	BASE_FILE	(repTopName)_{repTopId}
2	OUTPUT_SETTING	2	DATE_FORMAT	yyyyMMdd
3	OUTPUT_SETTING	3	BASE_FOLDER	C:%ConMas%endInput%output%{defTopName}%
4	OUTPUT_SETTING	4	CSV	cluster_id file_name ...
5	OUTPUT_SETTING	5	CSV	cluster_id file_name ...

2. 出力ディレクトリを変更する

共通マスター一覧よりファイル出力ディレクトリ設定行のNo列をクリックします。

- 共通マスタ参照画面の編集ボタンをクリックし、共通マスタ編集画面を表示します。

ConMas Manager

ログイン中: ユーザーさん01 [ログオフ]
Version: 2.1.1968

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理

共通マスター一覧

No	共通項目名称	共通項目インデックス	共通項目値	ロケール
0	OUTPUT_SETTING	0	C:¥ConMas¥endInput¥output¥{defTopName}¥	
1	OUTPUT_SETTING	1	{repTopName}_{repTopId}	
2	OUTPUT_SETTING	2	DATE_FORMAT	YYYYMMDD
3	OUTPUT_SETTING	3	DATETIME	共通マスタ参照
4	OUTPUT_SETTING	4	TIME_FOR	
5	OUTPUT_SETTING	5	CSV	

② 共通項目名称が "BASE_FOLDER" 行の No列をクリック

① OUTPUT_SETTINGを選択

③ 編集ボタンをクリック

共通マスタ参照

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	0
共通項目名称	BASE_FOLDER
共通項目値	C:¥ConMas¥endInput¥output¥{defTopName}¥
ロケール	

2. 出力ディレクトリーを変更する

共通マスタ編集画面で共通項目値を編集します。

- 共通項目値がファイル出力ディレクトリーとなります。出力フォルダパスを設定出来ます。
- 出力フォルダパス内に{xxxx}といった形でいくつかの置換文字列を使用できます。置換文字列を使用する事で、入力完了された入力帳票の情報を使用して動的なフォルダを作成出来ます。詳しくは、次ページの「置換文字列について」をご参照下さい。
- 編集完了したら、「登録」ボタンをクリックして確定します。
- ここでの編集時に、「共通項目値」以外の項目は編集しないで下さい。

ConMas Manager

ログイン中：ユーザーさん01 [ログオフ]
Version:2.1.1968

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

☰ 一覧へ戻る 共通マスタ編集

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスタ管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データ取り込み

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	0
共通項目名称	BASE_FOLDER
共通項目値	C:\ConMas\endInput\output\{defTopName}\
ロケール	▼

登録 キャンセル

②「登録」をクリックして変更完了

①「共通項目値」を編集します。

3. 置換文字列について

ファイル出力ディレクトリーには、置換文字列が使用出来ます。
置換文字列を使用する事により、動的な出力フォルダを作成する事が可能になります。
置換文字列は、以下を用意しています。

置換文字列	置換される値
{date}	入力完了時の日付 yyyyMMdd 形式
{dateTime}	入力完了時の日時 yyyyMMddHHmmss 形式
{time}	入力完了時の時刻 HHmmss 形式
{defTopId}	入力完了した入力帳票の帳票定義 I D
{defTopName}	入力完了した入力帳票の帳票定義名称
{repTopId}	入力完了した入力帳票の I D
{repTopName}	入力完了した入力帳票名称
{remarks1}	入力完了した入力帳票の備考 1
……	入力完了した入力帳票の備考 2～9
{remarks10}	入力完了した入力帳票の備考 10
{defTopOrg}	入力完了した入力帳票の元帳票定義 I D
{defRevNo}	入力完了した入力帳票の帳票定義リビジョン番号
{repTopOrg}	入力完了した入力帳票の元入力帳票 I D
{repRevNo}	入力完了した入力帳票リビジョン番号
{publicStatus}	入力完了した入力帳票の公開ステータス

設定例)

- 帳票定義毎に出力する。
C:¥ConMas¥SettingFiles¥output¥{defTopName}¥
- 入力帳票毎に出力する。
C:¥ConMas¥SettingFiles¥output¥{repTopName}¥

4. 出力ファイル名を確認する

ConMasManagerで出力ファイルのファイル名を確認します。

- メニュー「システム管理」をクリックし、システム管理メニューより「共通マスタ管理」をクリックして共通マスター一覧を表示します。
- 画面右上の「共通キー」コンボボックスに“OUTPUT_SETTING”と入力します。
- 一覧 共通項目名称列が“BASE_FILE”である行の共通項目値が出力ファイル名になります。

①メニュー「システム管理」をクリック

②システム管理メニュー「共通マスタ管理」をクリック

③“OUTPUT_SETTING”を選択

④共通項目名称列が“BASE_FOLDER”の行

⑤出力ファイル名

No.	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値
0	OUTPUT_SETTING_0	BASE_FOLDER		C:\ConMas\endInput\input\{defTopName}\%
1	OUTPUT_SETTING_1	BASE_FILE		{repTopName}_{repTopId}
2	OUTPUT_SETTING_2	DATE_FORMAT		yyyyMMdd
3	OUTPUT_SETTING_3	DATETIME_FORMAT		yyyyMMddHHmmss
4	OUTPUT_SETTING_4	TIME_FORMAT		HHmmss
1	OUTPUT_SETTING_1	BASE_FILE		{repTopName}_{repTopId}
5	OUTPUT_SETTING_5	CSV		cluster_type, input_v rep_sheet_no, cluster e WHEN cluster_type = 'FixedText' THEN disp = 'FixedText' AND CO cluster_id '.png' WH

5. 出力ファイル名を変更する①

共通マスター一覧よりファイル名設定行のNo列をクリックします。

- 共通マスタ参照画面の編集ボタンをクリックし、共通マスタ編集画面を表示します。

ConMas Manager ログイン中: ユーザーさん01 [ログオフ] Version: 2.1.1968

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
0	OUTPUT_SETTING	0	BASE_FOLDER	C:*ConMas*endInput*output*{defTopName}*	
1	OUTPUT_SETTING	1	BASE_FILE	{repTopName}_{repTopId}	
2	OUTPUT_SETTING	2	DATE_FORMAT	wwwMMdd	
3	OUTPUT_SETTING	3	DATE_FORMAT	wwwMMdd	
4	OUTPUT_SETTING	4	TIM		
5	OUTPUT_SETTING	5	CSV		

② 共通項目名称が "BASE_FILE" 行の No 列をクリック

① OUTPUT_SETTING を選択

③ 編集ボタンをクリック

共通マスタ参照

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	1
共通項目名称	BASE_FILE
共通項目値	{repTopName}_{repTopId}
ロケール	

5. 出力ファイル名を変更する②

共通マスタ編集画面で共通項目値を編集します。

- 共通項目値がファイル出力ディレクトリとなります。出力フォルダパスを設定出来ます。
- 出力フォルダパス内に{xxxx}といった形でいくつかの置換文字列を使用できます。置換文字列を使用する事で、入力完了された入力帳票の情報を使用して動的なフォルダを作成出来ます。詳しくは、「置換文字列について」をご参照下さい。
- 編集完了したら、「登録」ボタンをクリックして確定します。
- ここでの編集時に、「共通項目値」以外の項目は編集しないで下さい。

ConMas Manager

ログイン中：ユーザーさん01 [ログオフ]
Version:2.1.1975

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

☰ 一覧へ戻る 共通マスタ編集

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスタ管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データ取り込み

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	1
共通項目名称	BASE_FILE
共通項目値	{repTopName}_{repTopId}
ロケール	

登録 | キャンセル

②「登録」をクリックして変更完了

①「共通項目値」を編集します。

6. 入力完了ファイル出力可否の設定①

入力完了時のファイル出力自体を、出力しないように設定する事が可能です。

- 共通マスター一覧より共通項目名称が"FINISH"である行のNo列をクリックし、共通マスタ参照画面を表示します。
- 共通マスタ参照画面の編集ボタンをクリックして共通マスタ参照画面を表示します。

ConMas Manager ログイン中: ユーザーさん01 [ログオフ] Version: 2.1.1968

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスタ管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データ取り込み

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称		ロケール
0	OUTPUT_SETTING	0	BASE_FOLDER	C:\ConMas\endInput\koutput\{defTopName}\	
1	OUTPUT_SETTING	1	BASE_FILE	{repTopName}_{repTopId}	
2	OUTPUT_SETTING	2	DATE_FORMAT	yyyyMMdd	
3	OUTPUT_SETTING	3	DATETIME_FORMAT	vvvMMddHHmmss	
.....					
10	OUTPUT_SETTING	10	FINISH	true	

① OUTPUT_SETTINGを選択

② 共通項目名称が"FINISH"行のNo列をクリック

③ 編集ボタンをクリック

共通マスタ参照

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	10
共通項目名称	FINISH
共通項目値	true
ロケール	

6. 入力完了ファイル出力可否の設定②

共通マスタ編集画面で共通項目値を編集します。

- 共通項目値を“false”にすると、ファイル出力を行いません。
“true”にすると、ファイル出力を行います。
- 編集完了したら、「登録」ボタンをクリックして確定します。
- ここでの編集時に、「共通項目値」以外の項目は編集しないで下さい。

ConMas Manager

ログイン中：ユーザーさん01 [ログオフ]
Version:2.1.1968

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

☰ 一覧へ戻る 共通マスタ編集

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスタ管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データ取り込み

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	10
共通項目名称	FINISH
共通項目値	true
ロケール	[dropdown]

登録 キャンセル

① 「共通項目値」を編集します。

② 「登録」をクリックして変更完了

7. 編集保存ファイル出力可否の設定①

編集保存時のファイル出力自体を、出力しないように設定する事が可能です。

- 共通マスター一覧より共通項目名称が"EDIT"である行のNo列をクリックし、共通マスタ参照画面を表示します。
- 共通マスタ参照画面の編集ボタンをクリックして共通マスタ参照画面を表示します。

The screenshot shows the ConMas Manager interface. The 'システム管理' (System Management) menu is open, and '共通マスタ管理' (Common Master Management) is selected. The '共通マスター一覧' (Common Master List) table is displayed, with the 'OUTPUT_SETTING' column highlighted. A callout box points to the 'OUTPUT_SETTING' column header with the text '①OUTPUT_SETTINGを選択' (Select OUTPUT_SETTING). Another callout box points to the '12' in the 'No' column of the row where '共通項目名称' (Common Item Name) is 'EDIT' with the text '②共通項目名称が"EDIT"行のNo列をクリック' (Click the No column of the row where the common item name is 'EDIT'). A third callout box points to the edit button in the '共通マスター参照' (Common Master Reference) dialog box with the text '③編集ボタンをクリック' (Click the edit button). The '共通マスター参照' dialog box shows the following data:

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	12
共通項目名称	EDIT
共通項目値	false
ロケール	

7. 編集保存ファイル出力可否の設定②

共通マスタ編集画面で共通項目値を編集します。

- 共通項目値を“false”にすると、ファイル出力を行いません。
“true”にすると、ファイル出力を行います。
- 編集完了したら、「登録」ボタンをクリックして確定します。
- ここでの編集時に、「共通項目値」以外の項目は編集しないで下さい。

ConMas Manager

ログイン中：ユーザー01 [ログオフ]
Version:2.3.2671

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

☰ 一覧へ戻る 共通マスター編集

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスター管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データ取り込み

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	12
共通項目名称	EDIT
共通項目値	true
ロケール	<input type="checkbox"/>

登録 キャンセル

① 「共通項目値」を編集します。

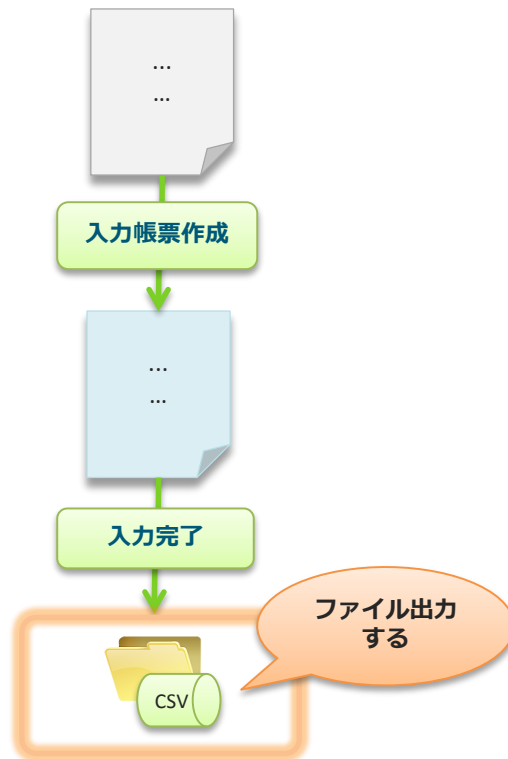
② 「登録」をクリックして変更完了

8. 帳票定義毎のファイル出力可否設定とは①

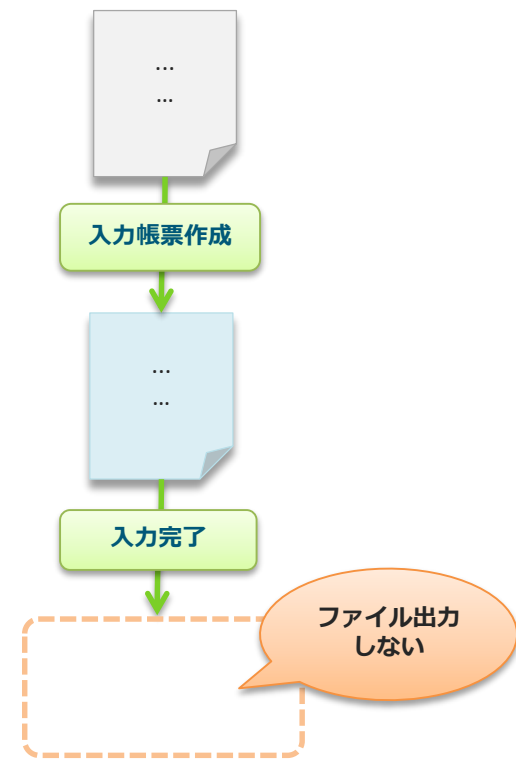
6. 入力完了ファイル出力可否の設定, 7. 編集保存ファイル出力可否の設定にて、“**ファイル出力する**”に設定した場合は、さらに定義毎にファイル出力可否設定を行う事が出来ます。

- 6.入力完了ファイル出力設定 = “出力する”

■ 帳票定義A：帳票完了時のファイルの自動出力=“する”



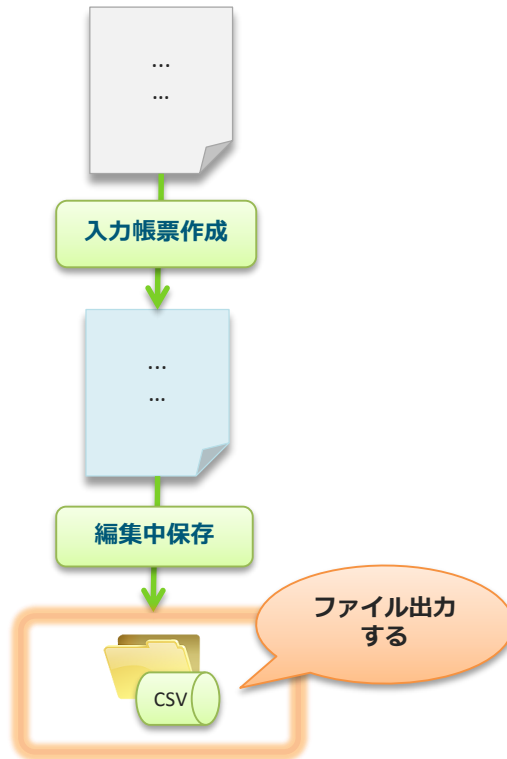
■ 帳票定義A：帳票完了時のファイルの自動出力=“しない”



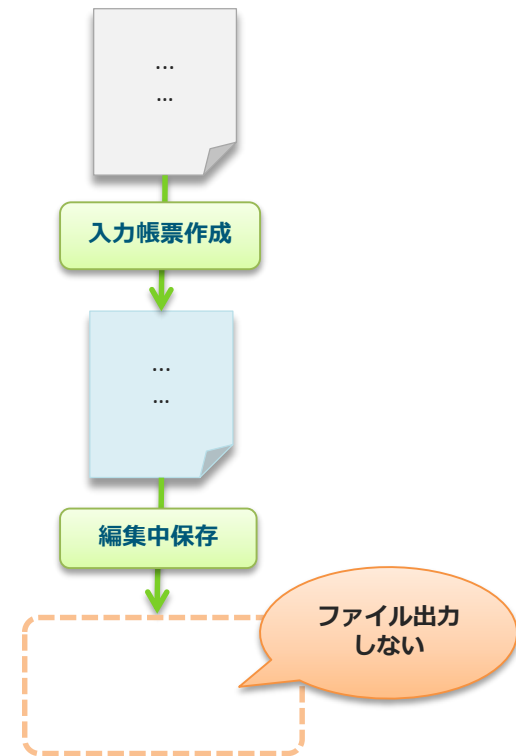
8. 帳票定義毎のファイル出力可否設定とは②

- 7.編集保存ファイル出力設定 = “出力する”

■ 帳票定義A：帳票保存時のファイルの自動出力=“する”



■ 帳票定義A：帳票保存時のファイルの自動出力=“しない”



9. 帳票定義毎のファイル出力可否の確認

帳票定義毎のファイル出力可否確認は、
メニュー「帳票定義」一覧→基本情報画面にて確認出来ます。

- 入力完了時のファイル出力可否は、“帳票完了時のファイルの自動出力”
- 編集保存時のファイル出力可否は、“帳票保存時のファイルの自動出力”
にそれぞれ対応しています。

①帳票定義をクリック

②基本情報をクリック

③帳票定義毎の
ファイル出力可否設定

▼基本情報	
定義ID	13
定義名称	[サンプル] 7N 作業日報&品質記録
帳票種別	シート
シート数	1
元定義ID	13
リビジョンNO	1
自動帳票作成対象区分	対象外
公開ステータス	公開
選択値自動取得対象	対象外
モバイル保存有無	帳票定義残す
備考情報モバイル編集可否	編集可
帳票完了時のファイルの自動出力	する
帳票保存時のファイルの自動出力	する

10. 帳票定義毎のファイル出力可否の設定

帳票定義毎のファイル出力可否設定は、
基本情報画面→基本情報編集画面にて設定出来ます。

- 入力完了時のファイル出力可否は、“帳票完了時のファイルの自動出力”
- 編集保存時のファイル出力可否は、“帳票保存時のファイルの自動出力”
にそれぞれ対応しています。

①編集ボタンをクリック

②帳票定義毎の
ファイル出力可否設定を
設定する

③登録ボタンをクリックして
内容を確認します。

▼基本情報	
定義ID	13
定義名称	[サンプル] 7N 作業日報&品質記録
帳票種別	シート
シート数	1
元定義ID	13
リビジョンNO	1
自動帳票作成対象区分	対象外
公開ステータス	公開
選択値自動取得対象	対象外
モバイル保存有無	帳票定義残す
帳票完了時のファイルの自動出力	する
帳票保存時のファイルの自動出力	する

1 1. CSVレイアウト変更 縦形式

CSVファイルの縦形式には出力レイアウトが2種類あり、
システム管理→共通マスタ管理画面にて新規追加CSVレイアウトで出力するよう設定出来ます。
※新レイアウトについては、別紙「自動出力CSVレイアウト」を参照下さい。

- 共通マスター一覧より共通項目名称が“CSV_MODE”である行のNo列をクリックし、共通マスタ参照画面を表示します。
- 共通マスタ参照画面の編集ボタンをクリックして共通マスタ参照画面を表示します。

ConMas Manager

ログイン中: ユーザーさん01 [ログオフ]
Version: 2.1.1968

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスタ管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データ取り込み

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	ロケール
0	OUTPUT_SETTING	0	BASE_FOLDER	C:\ConMasVendInput\output\{defTopName}\
1	OUTPUT_SETTING	1	BASE_FILE	{repTopName}_{repTopId}
2	OUTPUT_SETTING	2	DATE_FORMAT	yyyyMMdd
3	OUTPUT_SETTING	3	DATETIME_FORMAT	vvvvMMddHHmmss
.....				
13	OUTPUT_SETTING	13	CSV_MODE	2

① OUTPUT_SETTINGを選択

② 共通項目名称が“EDIT”行のNo列をクリック

③ 編集ボタンをクリック

共通マスタ参照

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	13
共通項目名称	CSV_MODE
共通項目値	2
ロケール	

1 1. CSVレイアウト変更 縦形式

共通マスタ編集画面で共通項目値を編集します。

- 共通項目値を"1"にすると、自動出力CSVレイアウトの"CSV_MODE = 1 CSVレイアウト"でCSV出力を行います。
- "2"にすると、自動出力CSVレイアウトの"CSV_MODE = 2 CSVレイアウト"でCSV出力を行います。
- 編集完了したら、「登録」ボタンをクリックして確定します。
- ここでの編集時に、「共通項目値」以外の項目は編集しないで下さい。

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログオフ]
Version:3.0.2865

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

≡ 一覧へ戻る 共通マスター編集

システム管理

- ユーザー管理
- グループ管理
- 端末管理
- メール通知設定
- 共通マスター管理
- 閲覧参照用ファイルアップロード
- データ取り込み

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	13
共通項目名称	CSV_MODE
共通項目値	2
ロケール	

登録 キャンセル

① 「共通項目値」を編集します。

② 「登録」をクリックして変更完了

1 1. CSVレイアウト 横形式

V3.1より横形式のCSVファイルも自動出力出来るようになります。

- Managerのデータ出力機能で出力される1 帳票 1 レコードのレイアウトで出力します。
- デフォルトでは出力しない設定となっています。次ページの「1 2. 出力ファイルの種類別出力可否①」にて出力する・しない設定が可能です。
- レイアウト変更はManagerのデータ出力機能で可能です。
- 縦形式と横形式CSVは別ファイルとしてそれぞれ出力します。
出力CSVファイル名は、縦形式のCSVとの重複を避けるため、末尾に“_dataoutput”が入ります。

レイアウト例)

1 帳票につき 1 レコードのため、自動出力の場合はヘッダと合わせて必ず 2 行となります。

	帳票ID	帳票名称	シート番号	クラスター 1	クラスター 2	クラスター 3	シート番号	クラスター 1	クラスター 2	...
ヘッダ行										
帳票行	101	テスト帳票	1	XXXX	XXXX	XXXX	2	XXXX	XXXX	...

12. 出力ファイルの種類別出力可否①

CSV, PDF, EXCEL, XMLファイルを個別に出力する・しない設定が出来ます。
運用上不要なファイルは、出力しない設定すると自動出力されません。
設定は、システム管理→共通マスタ管理で行います。

- 右上のコンボボックスより"OUTPUT_SETTING"を選択します。
- 共通項目名称"XML":XMLの自動出力する・しない設定
- "PDF":PDFの自動出力する・しない設定
- "EXCEL":EXCELの自動出力する・しない設定
- "CSV_OUTPUT":縦形式のCSVの自動出力する・しない設定
- "DATA_OUTPUT":横形式のCSVの自動出力・しない設定

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール	
7	OUTPUT_SETTING	7	XML	true		
8	OUTPUT_SETTING	8	PDF	true		
9	OUTPUT_SETTING	9	TMP_XML	false		
10	OUTPUT_SETTING	10	FINISH	true		
11	OUTPUT_SETTING	11	CSV_ENCODING	932		
12	OUTPUT_SETTING	12	EDIT	false	
13	OUTPUT_SETTING	13	CSV_MODE	2		
14	OUTPUT_SETTING	14	共通マスター参照			
15	OUTPUT_SETTING	15				
16	OUTPUT_SETTING	16				
17	OUTPUT_SETTING	17				
18	OUTPUT_SETTING	18				
19	OUTPUT_SETTING	19				

① OUTPUT_SETTINGを選択

② 設定する行のNo列をクリック

③ 編集ボタンをクリック

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	7
共通項目名称	XML
共通項目値	true
ロケール	

1 2. 出力ファイルの種類別出力可否②

共通マスタ編集画面で共通項目値を編集します。

- 共通項目値を“true”にすると「出力する」、「false”にすると「出力しない」となります。
- 編集完了したら、「登録」ボタンをクリックして確定します。
- ここでの編集時に、「共通項目値」以外の項目は編集しないで下さい。

ConMas Manager

ログイン中：ユーザー01 [ログオフ]
Version:3.0.2865

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

☰ 一覧へ戻る 共通マスター編集

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスター管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データー取り込み

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	7
共通項目名称	XML
共通項目値	true
ロケール	▼

登録 キャンセル

② 「登録」をクリックして変更完了

① 「共通項目値」を編集します。

13. レイヤー込みPDFの出力有無①

自動出力時に通常の帳票PDF出力に加えてレイヤー込みPDFを出力する・しないの設定が出来ます。

- 右上のコンボボックスより"OUTPUT_SETTING"を選択します。
- 共通マスター一覧より共通項目名称が"PDF_LAYER_ENABLE"である行のNo列をクリックし、共通マスタ参照画面を表示します。

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
7	OUTPUT_SETTING	7	XML	true	
8	OUTPUT_SETTING	8	PDF	true	
9	OUTPUT_SETTING	9	TMP_XML	false	
10	OUTPUT_SETTING	10	FINISH	true	
11	OUTPUT_SETTING	11	CSV_ENCODING	932	
12	OUTPUT_SETTING	12	EDIT	false	
			2	
			true		
			true		

OUTPUT_SETTING

①OUTPUT_SETTINGを選択

7	OUTPUT_SETTING	7	XML	true	
8	OUTPUT_SETTING	8	PDF	true	
9	OUTPUT_SETTING	9	TMP_XML	false	
10	OUTPUT_SETTING	10	FINISH	true	
11	OUTPUT_SETTING	11	CSV_ENCODING	932	
12	OUTPUT_SETTING	12	EDIT	false	
			2	
			true		
			true		

②共通項目名称が"PDF_LAYER_ENABLE"行のNo列をクリック

OUTPUT_SETTING	16	CSV_MANUAL_OUTPUT	true		
OUTPUT_SETTING	17	PDF_MANUAL_OUTPUT	true		
OUTPUT_SETTING	18	EXCEL_MANUAL_OUTPUT	true		
19	OUTPUT_SETTING	19	PDF_LAYER_ENABLE	true	

③編集ボタンをクリック

共通マスター参照

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	19
共通項目名称	PDF_LAYER_ENABLE
共通項目値	true
ロケール	

13. レイヤー込みPDFの出力有無②

共通マスタ編集画面で共通項目値を編集します。

- 共通項目値を"true"にすると「レイヤー込みPDFを出力する」、
"false"にすると「レイヤー込みPDFを出力しない」となります。
- 編集完了したら、「登録」ボタンをクリックして確定します。
- ここでの編集時に、「共通項目値」以外の項目は編集しないで下さい。

ConMas Manager

ログイン中：ユーザー01 [ログオフ]
Version:3.0.2865

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

☰ 一覧へ戻る 共通マスター編集

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスター管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データー取り込み

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	19
共通項目名称	PDF_LAYER_ENABLE
共通項目値	true
ロケール	▼

登録 キャンセル

② 「登録」をクリックして変更完了

① 「共通項目値」を編集します。

14. 手動出力ファイルの種類別表示可否①

入力帳票の基本情報画面の手動ファイル出力ボタンの表示・非表示設定が行なえます。

The screenshot displays the 'ConMas Manager' web application. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', and 'システム管理'. The current page is titled '帳票名: 20130420[FreeDraw] 不具合報告 兼 品質対策シート_user01'. The left sidebar shows a tree view with '基本情報' selected. The main content area shows a report preview with a table of data. Overlaid on the report are two panels of buttons for manual output: '公開' (Public), '承認待ち' (Awaiting Approval), 'CSV', 'データ出力' (Data Output), 'EXCEL', 'PDF', and 'レイヤー表示' (Layer Display). A green dashed box highlights the 'データ出力' button in the left panel, and a green callout box points to the 'レイヤー表示' button in the right panel.

作成日	2013
製造工場	第一
製品群	国内
部品名	シリ
発生日時	
LOT#	
<状況>	
て22	
<発生理由>	
イ	

手動出力ボタンの
表示・非表示設定

14. 手動出力ファイルの種類別表示可否②

設定は、システム管理→共通マスタ管理で行います。

- 右上のコンボボックスより“OUTPUT_SETTING”を選択します。
- 共通項目名称“CSV_MANUAL_OUTPUT”:CSV、データ出力ボタンの表示する・しない設定
- “PDF_MANUAL_OUTPUT”:PDF出力ボタンの表示する・しない設定
- “EXCEL_MANUAL_OUTPUT”:EXCEL出力ボタンの表示する・しない設定

共通マスター一覧

① OUTPUT_SETTINGを選択

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
7	OUTPUT_SETTING	7	XML	true	
8	OUTPUT_SETTING	8	PDF	true	
9	OUTPUT_SETTING	9	EXCEL	true	
10	OUTPUT_SETTING	10	CSV	true	
11	OUTPUT_SETTING	11	PDF_LAYER_ENABLE	true	
12	OUTPUT_SETTING	12	EDIT	false	
13	OUTPUT_SETTING	13	CSV_MODE	2	
14	OUTPUT_SETTING	14	EXCEL	true	
15	OUTPUT_SETTING	15	CSV_OUTPUT	true	
16	OUTPUT_SETTING	16	CSV_MANUAL_OUTPUT	true	
17	OUTPUT_SETTING	17	PDF_MANUAL_OUTPUT	true	
18	OUTPUT_SETTING	18	EXCEL_MANUAL_OUTPUT	true	
19	OUTPUT_SETTING	19	PDF_LAYER_ENABLE	true	

② 設定する行のNo列をクリック

③ 編集ボタンをクリック

共通マスター参照

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	7
共通項目名称	XML
共通項目値	true
ロケール	

14. 手動出力ファイルの種類別表示可否③

共通マスタ編集画面で共通項目値を編集します。

- 共通項目値を“true”にすると「表示する」、「false」にすると「表示しない」となります。
- 編集完了したら、「登録」ボタンをクリックして確定します。
- ここでの編集時に、「共通項目値」以外の項目は編集しないで下さい。

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログオフ]
Version: 3.0.2865

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

☰ 一覧へ戻る 共通マスター編集

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
メール通知設定
共通マスター管理
閲覧参照用ファイルアップロード
データ取り込み

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	18
共通項目名称	EXCEL_MANUAL_OUTPUT
共通項目値	true
ロケール	

登録 キャンセル



① 「共通項目値」を編集します。

② 「登録」をクリックして変更完了

15. Excel出力時の書式設定



Excel出力時に、定義Excelのセル書式をそのまま使用して出力する事が出来ます。

- システム管理→共通マスター管理→共通キー「OUTPUT_SETTING」,共通項目名「EXCEL_OUTPUT_MODE」にて設定します。
- 共通項目値を"1"にするとExcelのセル書式を変更せず入力値のみ出力します。
"0"にすると従来通り、ConMasDesignerで設定された書式設定に書きかえて出力します。

共通マスター参照  

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	21
共通項目名称	EXCEL_OUTPUT_MODE
共通項目値	1
ロケール	

Excelのセル書式のまま
出力する

共通マスター参照  

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	21
共通項目名称	EXCEL_OUTPUT_MODE
共通項目値	0
ロケール	

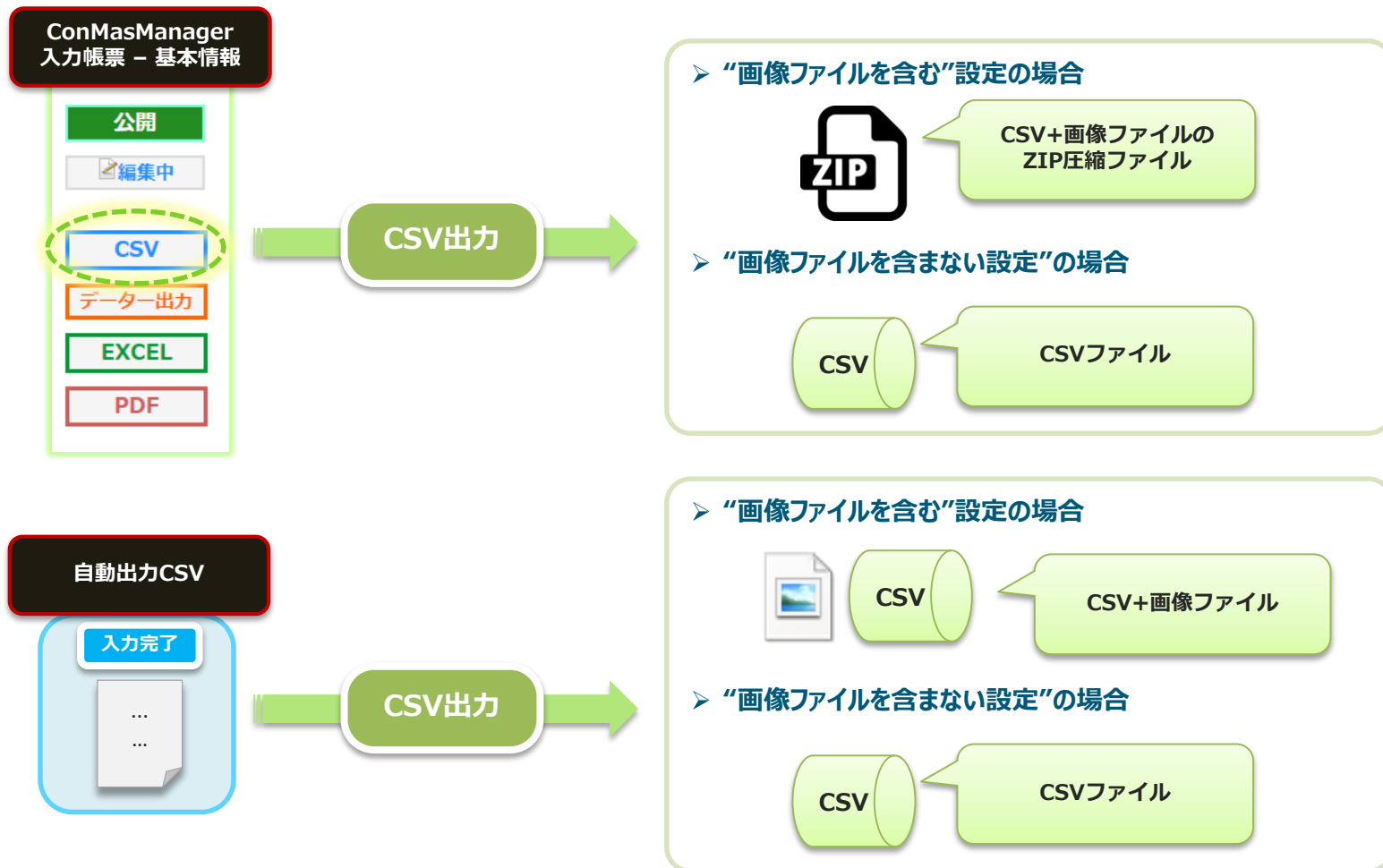
ConMasDesignerの
クラスター書式で
出力する
(従来どおり)

16. CSV出力時の画像ファイル出力可否

自動CSV出力時に、画像ファイルを“含む”・“含めない”設定が出来ます。

- Manager入力帳票の基本情報上のボタン“CSV”に対しても適用されます。
※画像が存在する場合はzipファイルとなりましたが、“含めない”設定にしておくと、常にCSVファイル出力となります。

例) 画像ありの入力帳票CSV出力



設定手順

- システム管理→共通マスター管理→共通キー「OUTPUT_SETTING」、共通項目名「CSV_IMAGE_OUTPUT」にて設定します。
- 共通項目値を“true”にすると画像ファイルを含んで出力します。（従来通り）
“false”にすると画像ファイルを含まず出力します。

共通マスター一覧

①OUTPUT_SETTING
を選択

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
23	OUTPUT_SETTING	23	CSV_IMAGE_OUTPUT	true	

②この行を設定します。

共通マスター編集

共通キー	OUTPUT_SETTING
共通項目インデックス	23
共通項目名称	CSV_IMAGE_OUTPUT
共通項目値	true
ロケール	

③true 又は false に設定します。

共通項目値	false
-------	-------